

# 人と人をつなぐかけ橋になろう 多文化共生推進リーダー育成講座 受講後アンケート結果

回答者数：9名

## 問1 各回の内容を評価してください。

①5月13日「多文化共生」って何だろう

◎もっと深く聞きたい	3
○興味深かった	6
△一度で十分	0
×不要	0
合計	9

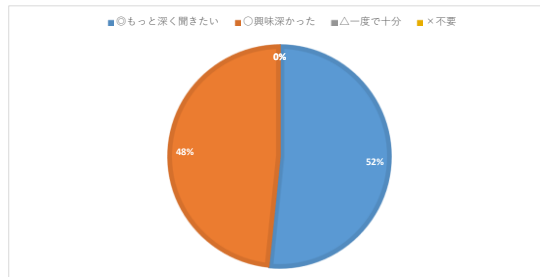
総合満足度（全回合計）

◎もっと深く聞きたい	16	52%
○興味深かった	15	48%
△一度で十分	0	0%
×不要	0	0%
合計	31	100%

②5月27日「やさしい日本語」で話してみよう

◎もっと深く聞きたい	5
○興味深かった	3
△一度で十分	0
×不要	0
合計	8

※欠席1



③6月10日 外国人住民から聞く 自国の文化と日本との違い

◎もっと深く聞きたい	2
○興味深かった	3
△一度で十分	0
×不要	0
合計	5

※欠席4

④6月24日多文化共生に向けて活動する団体から活動の「今」を知る

◎もっと深く聞きたい	6
○興味深かった	3
△一度で十分	0
×不要	0
合計	9

## 問2 6月24日の講座内容の感想

- ・ いろいろな活動をしている人の話を聞くことができてよかったです。
- ・ いろんなアイデアが出てきて、形にしたいです。副業としてやってみたいです。
- ・ いろんな意見が聞けてとても楽しかったです。
- ・ とてもおもしろく、楽しい時間が過ごせた。コロナで人と話す機会が減っていたので。
- ・ 自分にできそうなことが見つかりました。
- ・ 実際の団体の方々に聞けてとてもよかったです。自分で気軽にできることから、困りごとは大きいけど支援体制の構築が難しいことまである（子育て・教育・医療）
- ・ 大変勉強になりました。
- ・ 知らなかった情報を入手できたのが良かったです。やっぱり知る機会は大事だと思いました。いろんな案が出て「やまぐち縁結び事業」が面白かったです笑
- ・ 話し合い活動は、発見と提案がある

### 問3 どんなことが多文化共生に必要なだと思いますか？

- ・ おもいやり
- ・ まず、日本人が外国人とつながること
- ・ 外国人の問題というより、我々ホストコミュニティの問題として考え、行動する。
- ・ 個人の無関心を改める。理解を深める交流の場をつくる。
- ・ 少しずつ理解者を増やしていくことだと思います。「やさしい日本語」を普及することは大切だと思いました。
- ・ 情報交換・宣伝・理解し合い
- ・ 相手のことを大事にする
- ・ 無理しない範囲で、続けられること。強要はしないけれどオープンな気持ちで。
- ・ 理解する

### 問4 多文化共生を進めるために、自分に何ができると思いますか。

- ・ お手伝いできることを聞く。学校を巻き込む。
- ・ だれとでも話せる社会
- ・ まず近くに住んでいる外国の方と交流する
- ・ 外国人住民として、かけはしの役をしたいです。イベント企画できると思います。
- ・ 個人のできること：地域住民として、近所づきあいや行事を通して「無関心層」「関心あるけど踏み出せない層」と外国人住民をつなぐ。  
個人のできることを超えていること：病院、行政手続き、子育てなど困り感が多きことは関係団体につなぐ。  
役所などに相談や提案。気軽に相談できるおばちゃんを目指す。
- ・ 子育て支援
- ・ 自分が持っている情報を発信して、少しでも「知っている」や「当たり前」を増やす
- ・ 自分自身がいろんな社会・世界を知ること。そこからイベントや多様化を推進

### 問5 今後、多文化共生推進に対してどのような内容の講座を受けたいと思いますか。

- ・ 外国の方の、日本に対する気持ちを知りたいです。
- ・ 外国語講座
- ・ 外国人と友達になる講座がいいです
- ・ 国際交流、異文化交流系とは分けて、テクニカルなサポートの講座など。
- ・ 情報発信の方法
- ・ 他国の服を着たい、他国の料理を知りたい（作る・食べる）
- ・ 法律講座・財務関係講座

### 問6 講座で紹介した活動団体で興味を持った団体はありますか。

※回答者が多い順に表示

国際交流ひらかわ風の会	8
多文化共生推進委員会「やまるち」	7
日本語クラブ山口 (外国人のための日本語教室、 日本語ボランティア養成講座)	6
山口県国際交流協会	6
多文化共生マネージャー全国協議会	5
JICA：独立行政法人国際協力機構	3
その他	1

その他：柿沼さんの活動全般

問7 参加のきっかけとなった広報媒体を教えてください。

※回答者が多い順に表示

市のホームページ	3
ポスター	3
国際交流課インスタグラム	2
サンデー山口	1
メーリングリスト	1
チラシ	0

【その他希望する周知方法】

- ・ Facebook
- ・ メディアなど
- ・ 市報に載せていただきたいです。
- ・ 市報や折込

問8 今後、多文化共生事業に参加したいと思いますか？

参加したい	7
すぐには難しいが、参加したい	2
分からない	0

【難しい・わからない理由】

- ・ これから必要になると思うので、勉強は続けていきたい。
- ・ なかなか時間がありません。

問9 自分の周りの人は多文化共生に関心があると思いますか？

はい	1
いいえ	1
わからない	7

問10 自分の周りに多文化共生について紹介するとしたら、どのような方法が良いと思いますか？

- ・ イベント
- ・ イベント紹介
- ・ いまから考えていこうと思います
- ・ 国際交流のイベントに誘います
- ・ 自分の活動や、やりたいことの紹介
- ・ 多文化共生について、活動をしておられる方に話をさせていただくことが大事だと思います。
- ・ 体験授業
- ・ 直接、体験させるのがいいと思う
- ・ 無関心な人には、地域の共同作業や行事、農作業など「国際交流」っぽいことより、日常のことに寄せてそこを外国人との接点に→ほかに、話し合いで出たイベントなどに

## 問11 自由記入欄

- ・ とても勉強になりました。引き続き、頑張ります。
- ・ また紹介してください。
- ・ 継続していけると思う
- ・ 今回もとっても楽しかったです。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 先生方の熱い講義に感謝申し上げます。市役所の方々もありがとうございました。
- ・ 無関心層にリーチするために、さらに小さい規模でこういう講座があったらよいと思う。南部・徳地・徳佐・阿知須… マジョリティの住民は自分事とっていないので、小郡や中心部では参加者が少ない。